

## 「研究業績」の作成について

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a)学術雑誌\*1、(b)紀要\*2、(c)プロシーディングス、E.その他\*3、F.報告書・事業報告書等\*4、G.特許・設計等、H.国際学会発表\*5、I.国内学会発表\*5の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C.原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度(日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度)にしてください。

\*1: 学会誌、国際誌等を年代順に記載する。

\*2: 試験場報告、研究所報告等を含む。

\*3: 商業雑誌、資料等を記載する。

\*4: 調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。

\*5: 最近5カ年について記載する。(教授選考の場合、I.は不要)

\*6: 英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。

1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

\*7: 学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。

\*8: 論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド(太字)とする。

\*9: Journal は略記する。

\*10: 発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

## 記載例

## 研 究 業 績 (著書・学術論文等)

## A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)

農学について. 出版社, 東京, 100p.

2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)

岩手の農業(大学太郎, 学部一郎編), 堂, 盛岡, pp.10-20.

3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)

アメリカの農業(A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), 社, 東京, pp.20-30.

4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)

Agricultural Sciences (Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press, London, pp.20-30.

(注) 執筆した表題等は表記する必要はありません。

## B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)

- X Y Zに関する研究．[ 学修士または修士( 学) 大学]
2. 岩手一郎 (1983)  
A B Cに関する研究．[ 学博士または博士( 学) 大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)  
岩手における野生動物の分布．岩手の自然 3 : 1-5.
2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)  
岩手山の植物分布．岩手植物誌 15 : 215-220.

D. 原著論文

( a ) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)  
岩手の野生動物に関する研究．日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)  
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)  
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

( b ) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)  
トウホクヤマネズミの生態について．岩手大農報 17 : 30-40.

( c ) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)  
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)  
北上山系におけるニホンカモシカの生態調査．野性動物 125 : pp. 35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)  
イヌワシのPCB汚染．自然動物調査報告( 県), pp.10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)  
イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H . 国際学会発表 (最近 5 年)

1 . Morioka, J. and Iwate, I. (1996)

Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I . 国内学会発表 (最近 5 年)

1 . 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)

岩手の野性動物 . 第 100 回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.